

JARL

香川クラブ報

No. 379 平成23年10月15日



J A 5 Y D E

クラブミーティングの御案内

JH5EZB

暑い暑いと言いながらも庭に彼岸花・菊等が咲き、当局も歳なのか日にちが過ぎるのが早く、恒例のマラソンコンテストが近づいてきました。

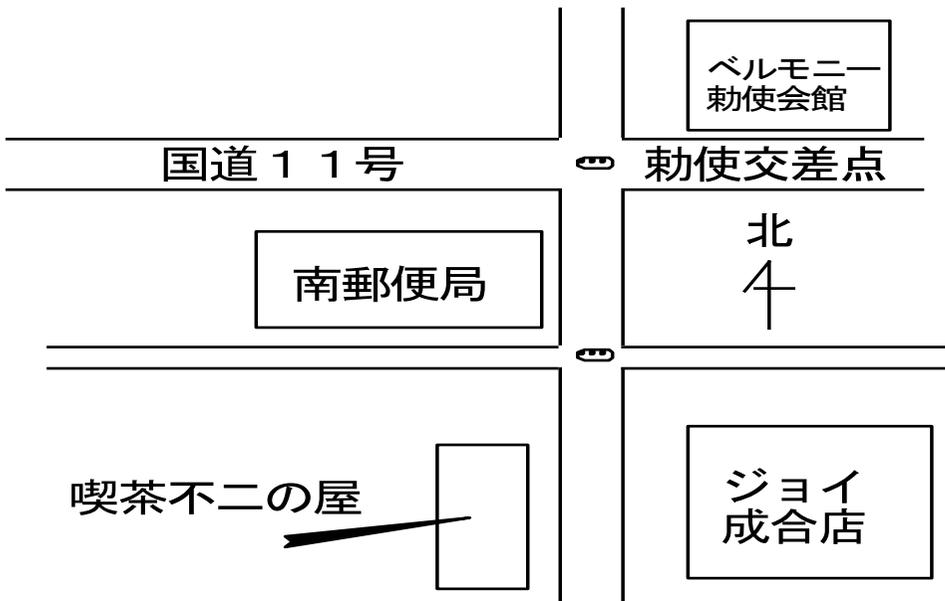
ARDF全国大会も三好会長が3年前から話していたのが目の前となり人生の早さをしみじみ考えているこの頃です。

季節がら大変忙しい中、申し訳ありませんが忘年会、マラソンコンテストの運用等打ち合わせを致したく下記の通りミーティングを行います。

多数の出席お願い申し上げます。

記

- 日時： 11月22日（火） 19：30～21：30位
場所： 成合町 喫茶不二の屋
議題： 1. マラソンコンテスト運用。
2. 忘年会。
3. その他。



平成23年度高松市震災対策総合訓練の参加依頼について

J H 5 E Z B

【訓練想定】

平成23年11月13日（日）午前8時30分、香川県全域に強い地震が発生し、高松市内で震度6弱を記録した。このため、多数の家屋が全壊し、また火災が発生するほか、道路等の破損や交通機関、通信施設、電気等の施設に甚大な被害が生じている。

先日9月28日の最終会議にて決定詳細を報告いたします。

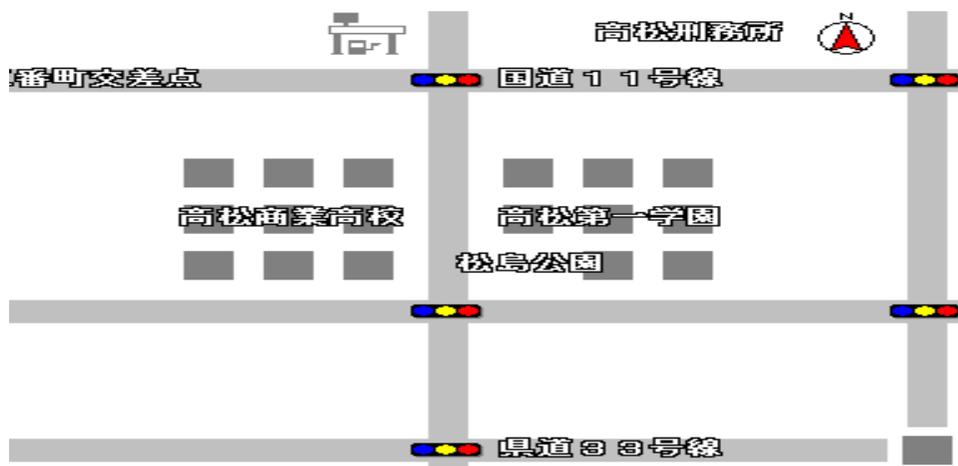
記

- ・ 訓練実施日：11月13日（日）午前8時30分～12時00分
- ・ 訓練会場：高松市立第一学園グラウンド（松島公園北側）
- ・ 集合時間：8時15分までに本部テントに。
- ・ 訓練運用：アマチュア無線情報収集無線運用は9時13分より運用予定。
- ・ その他：雨天の場合は中止とする。（状況判断は午前6時）

<お願い>

- * 参加者は430MHz帯のハンディトランシーバーを持参（無くても可）してください。
- * 駐車場は学園の南側、及び東側より入るようお願い致します、西側の門は当日入れませんのでよろしくお願い致します。
- * 中止の判断等についての問い合わせはJH5EZBまで、雨天の場合は中止。
- * 会場での誘導など事務連絡は433.32MHzとしますので連絡事項があればJA5YDEを呼出してください。ただし8時00分後よりお願いします。

携帯電話 090-1577-4268（三木）



忙しいとは思いますができるだけたくさんの参加をお願いします。

クラブミーティングの報告

J A 5 T F J

今回のミーティングは、2011 全日本 ARDF 競技大会を控え、臨時に開いたもので、9 月 22 日からオーストラリアのメルボルン近郊に於て展開された Reg. 3ARDF 大会での我がクラブ員の朗報が入ったばかりの 10 月 4 日（火）19:30 から喫茶不二の屋において、クラブミーティングを開催し、次の議題について熱心に協議、検討がなされました。

三木副会長の開会宣言につづき、三好会長から挨拶と説明がありました。

○会長挨拶要旨

① JARL 臨時社員選挙結果について

この度、一般社団法人化による社員選挙で四国では各県支部選出の社員 1 名と地方本部選出の社員 4 名が選出されることになりました。各県支部選出の社員は無投票で選出されましたが、地方本部選出の社員には 6 名の立候補があり、9 月 22 日締切りの選挙結果で各県 1 名の 4 名が当選しました。内訳は投票総数 786 票うち有効投票数 760 票で投票率 38.1%でした。当選 4 名の獲得票数は次の通り

J A 5 C P O	山脇	2 6 2 票	高知県
J H 5 L Y W	三好	1 5 9 票	香川県
J A 5 D B E	立花	1 1 7 票	愛媛県
J G 5 R V Q	江川	8 1 票	徳島県

となり、皆様のご支援により私（三好）が無事上位当選となりましたことに謝意を表します。この社員は従来の正会員に代わり、いわゆる代議員となるもので、全国 54 支部毎の 1 名（但し、栃木、岡山、山口、福井は欠）の 50 名とエリア別毎の 84 名、合計 134 名が選出されたわけです。各県支部から選出の社員が支部長の任に当たることとなります。そして社員の任期は通常 2 年ですが、今回は 26 年 6 月開催予定の次期社員総会までとなります。そのほか理事は全国選出の 5 名とエリア毎選出の 10 名の計 15 名となります。



② Reg. 3ARDF 大会について

今大会は、メルボルン北西にあるベンディゴにおいて開催されました。

10 月 22 日に高松を出発し関空からシンガポールを経由して現地に向かい

24 日 練習会（144MHz&3.5MHz）と機器のチェック

午後はミニ ARDF とオリエンテーリングのエキシビジョン

25 日 144MHz 部門の競技

26 日 S L での観光と金探掘抗などの見学とショッピング

27 日 3.5MHz 部門の競技

29 日夕方無事帰ってきました。

選手は世界 7 カ国からの参加で、日本からは 30 名あまり、そのうち四国から香川の

JA5UVT 詫間さんと私、そして徳島の JR5PVC 板東さんの 3 名が出場しました。

成績はつぎの通り、見事入賞を果たすことが出来ましたことを報告すると共に、今月末に開催される全日本 ARDF 競技大会に皆さんのご協力をお願いします。

<Reg. 3ARDF 大会成績>

団体総合は M55・M65 とともに 1 位で、特に 3.5MHz 部門の M55 では 1~5 位まで日本選手が独占しました。

(大きな金、銀、銅のメダルが皆さんに披露されました。おめでとう！)

144MHz z 部門

M 5 5	J H 5 L Y W	1 位
M 6 5	J A 5 U V T	3 位

3.5MHz z 部門

M 5 5	J H 5 L Y W	3 位
M 6 5	J A 5 U V T	2 位

団体総合部門

M 5 5	3.5MHz と 144MHz の総合成績	1 位
M 6 5		1 位



8th IARU Region 3 ARDF Championships

写真 左上 JA5UVT 詫間 OM,
右上 授与メダル,

表彰式

左下 JH5LYW 三好 OM
右下 第 1TX 配置の様子

③ 2011 ARDF 記念局 (8 J 5 ARDF) の運用について

9月1日～10月30日までの間、運用予定の記念局については前半を愛媛で運用され、10月17日～28日までの間を当香川クラブが担当することになりましたので後ほど運用分担を決めて戴きます。なお、10月29日、30日両日は全日本 ARDF 競技大会会場のみろく公園で公開運用されることになっています。

以上私からの報告とお礼並びにお願いをもって、あいさつと致します。との会長からのお言葉があった。

協議議題

1 平成 23 年 高松市趣味協会 秋の展示について (三木副会長)

今年も10月24、25、26日の3日間高松市市役所1階ロビーにおいて参加各団体の展示を行います。当クラブからは写真展示を予定しています。なお、23日は準備作業の日となっています。また皆さん見に行ってください。

2 高松市震災訓練について (三木副会長)

さきに、本件に関する事前打ち合わせがあり(2回)天野 OM と私が出席しました。

11月13日(日)高松第一学園(松島町)グラウンドにおいて震災訓練が行われます。(別掲)当日参加者は8時15分までに本部テントに集合、グラウンドへは東門と南門から入り自動車は駐車場へ停めて下さい。訓練は8時30分開会、12時までの予定となっており、アマチュア無線の出番は、おおよそ9時13分頃で、無線交信模様が場内に放送されます。通信は433.32MHz FM 使用予定、現場にはアピールのため GP Ant を建柱、リグは V、U の固定機で商用電源を使用、テントにクラブ旗を掲揚します。参加者はハテライトランシバーを持参して下さい。電池は市の方で準備してくれます。なお、当日は北四国 ARDF 競技大会と競合しており要員が少なくなると思われますので出来るだけ多くの皆さんの参加、ご協力をお願いします。(少なくとも本部と外部2地点に要員配置が必要で、本部席でも複数名が欲しいところです)

3 2011 全日本 ARDF 競技大会について (三好会長、詫間 OM)

- ・ 既に周辺の民家へは大会実施について周知、お願いを終わっている。
- ・ 10月3日主要役員がみろくの里、ツインパル長尾、春日温泉等の関係者と打ち合わせを行った。
- ・ あと地元警察署、消防署等への連絡、お願いに行くことが残っている。
- ・ 競技会場の地図等は坂内さん他で鋭意作成中
- ・ JARL からの経費支出が従来の50万円から40万円に減額されている。
- ・ 要員の配置等詳細はこれから決める。
- ・ 大会規模は選手156名、スタッフ72名 合計230名程度の予定
(選手内訳 3.5MHz 100名、144MHz 146名)
- ・ 今のところ韓国からの参加はなし
- ・ 選手のゼッケンは渡し切り予定(競技後の回収手数が不要である)
- ・ 当日までにスタッフの出・欠確認が必要

4 記念局 8 J 5 ARDF の運用担当者 (三木副会長)

10月17、18、19日・・・J H 5 E Z B

10月20、21、22、23日・・・J I 5 X T P

10月24、25、26、27、28日・・・J H 5 L Y W ・ J A 5 X K V

担当予定の皆さんご苦勞様ですがよろしくお願ひします。

(運用希望者がいれば J H 5 L Y W までご連絡をください)

5 次期クラブミーティング (別掲)

23年11月22日(火) 19:30～ 喫茶不二の屋

- 議題
- ・クラブ忘年会
 - ・マラソンコンテスト
 - ・全日本 ARDF 競技大会の反省ほか
 - ・高松市趣味協会展示、震災訓練等の反省ほか

(出席者) JA5AHM/JA5IJL/JA5TFJ/JA5TOP/JA5UVT/JH5EZB/JH5LYW/JH5PMZ
JE5PBO/JI5XTP (10名)

ARDF 競技大会の参加報告

2011年関西地方本部 ARDF 競技大会

144MHz 部門 (滋賀県蒲生郡 希望が丘文化公園近辺)

2011年9月11日(日)

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	コメント
M21	1位	JH5LYW	1:36:35	5個	Reg.3 の前哨戦で受信機等の調整も兼ねての参戦でした。Reg.3 では期待どおりの好成绩を残しました。
	2位	JG5OBX	1:42:37	4個	
M50	1位	JG5WTP	1:30:34	3個	
M60	1位	JA5UVT	1:28:36	3個	

ARDF 競技大会のご案内

第19回北四国 ARDF 競技大会(愛媛県支部・香川県支部)

- 日時 11月13日(日) 09:00~09:30 受付 10:30 競技開始 ※雨天決行
- 集合場所 高速松山道松山 IC 近郊 (詳細は参加者に後日連絡)
- 競技方法 JARL 制定の ARDF 競技大会実施方法に準じる
- 参加部門 男性: M19/M21/M40/M50/M60 女性: W19/W21/W50
- 賞 地域内外を含めた総合表彰
- 周波数 145MHz 帯 (当日指定) 電波型式: A2A
- 参加資格 JARL 会員・非会員を問わず
- 参加費 1,500円 (大人・年少者とも同額) ※お弁当が必要な方は600円を加算
- 申込方法

氏名, コールサイン, 参加クラス, 生年月日, 郵便番号, 住所, 電話番号, 弁当の要/不要を記入した申込書

定額小為替を同封, またはゆうちょ銀行口座への振込み可

メールでの申請可 ※メール案内送付希望者は SASE 不要

- 申込先 〒790-0912 松山市畑寺町 830-24 JARL 愛媛県支部

- 振込先

ゆうちょ銀行：記号 番号

他銀行からの振込：店名 店番 普通口座

参加申込書の空欄に「ゆうちょ銀行口座へ送金」と記入

※参加費は競技大会が中止の場合以外お返しできません

- 締切 11月3日（祝/木）必着

アマチュア無線に魅せられて60年

JA5MG 稲毛 章

「アマチュア無線の魅力」

私がアマチュア無線を始めるようになった動機を思い出してみると、戦後間もない1948年頃、自宅近くに満州より疎開して来た同級にあたる原田剛さん(exJA5BRT)と友達になり、小学5年生の二人は電気や無線に関する方面に強い興味を持ち、鉱石ラジオや模型電車などを作り始めた。中学生になってからボーイスカウトに入団し、団員の資格を取得するには「音響によるモールス符号の解読」という難関があり、それではと三極管 UY-76 を用いた低周波発信機を作り、盛んにモールス符号を練習して習得した。

1952年秋にアマチュア無線が再開されたことを知り、当時アマチュア無線に関する参考書として、オーム社発行の大河内正陽著「アマチュア無線入門(136頁125円)」を本屋で見つけ、この本で一生懸命に理論や製作について勉強した。

1953年4月高校入学の年。小遣いをためて、春日無線(現ケンウッド)のコイルキットを手に入れ、短波受信機を作り SWL を開始。その後出力管 UZ-42 を使用、水晶発信の無線電信送信機を製作。当時、大松の水晶発信子が1個700円位だった。一般の給与が8千円前後の時代で、今考えても高価なもので、資金作りに苦労したものです。

1955年秋、第1級アマチュア無線技士の免許取得。この時代は免許の有功期間が5年であった。「郵政省」の大きな角印が押されていて値打ものだった。

待望のアマチュア無線局が開局出来たのは1959年3月、22歳の年でした。当時の国内のアマチュア無線局数は約7,800局位で、この70%位の局が TX に UY-807 を使用していたようです。またこの年に JARL の働き掛けで初級クラスの電話級と電信級が誕生した年でもあり、国内では7メガ A3 の全盛の時代でした。

「JARL 香川クラブ」

1963年に JARL 香川クラブに入会。定例ミーティングは瓦町駅前の「太田理工社」で行われており、家内や娘を連れていつも出かけていました。クラブ行事もキャンプを楽しんだり、川原での魚釣りなど家族一同が参加して行われておりました。JA5AG 太田会長が仕事からタクシー無線の中古品を持ってこられ、ジャンケンで持ち帰ったり、電電公社の60メガ用アンテナの競売もあつたり、楽しい集まりでした。1972年からは10年間クラブ会長としてお世話もさせていただいた。

1964年3月、第2の人生へとゴールイン。すぐさま XYL のハム入門に力を入れ、1967年12月に JA5CSS が誕生。以来おしどりハムで楽しんでいます。

1972年に念願のハムのシンボルである四角自立20メートルのタワーを、クラブの AB、LI、MIK さんを始め JNJ さんなどに手伝っていただき建立。アマチュア無線の仲間はほんとうにありがたいものだと感じいました。

「 JARL 組織への参入 」

1965年6月、JARL 四国支部監査長をされていた JA5AG 太田さんに四国支部監査指導委員に勧誘され、これが今日まで JARL の組織の中に入り活動するスタートでした。3年あまり同委員。1968年10月より12年余四国支部監査長を歴任。この頃は県内の各局を回って電波障害などの相談にあっていた。小豆島へもバイクで出かけ泊を入れて島を一周した思い出がある。1985年5月 JA5AF 大塚さんの後任として、四国地方本部毎の理事に立候補。理事・四国地方本部長に就任。この頃の理事会の雰囲気は、現在とは格式の重みがちがい、発言にも気を使うことが多く、十分な考慮が必要でした。以来、来年で理事生活15期30年になろうとしています。途中で交代を申し出ましたが、まだ若いんだから、MG さんが一番適任だからと丸め込まれて今日まで来てしまった。

1998年5月副会長に就任。2010年5月再度副会長に選出され、2011年11月からは、JARL の法人改革で「一般社団法人日本アマチュア無線連盟」として新規登記を行ない、現法人50年の歴史から脱却し、新生 JARL を目指しており、この最初の舵取り役を担うこととなっております。現在の連盟の状態を見た時、会員減少、財政の見直しなど難問山積みで、その重責をひしひしと感じております。

「 アワード界での活躍 」

1965年頃、CQ 誌の付録に「日本のアワード」という小冊子があり、それを見てそれまでは AJD 、WAJA 程度のアワードしかハントしていませんでしたが、それ以来アワードのトリコになった。日本のアワード界の超ベテランと言われた JA1ELL 岡田さんと懇意になり、ご指導をいただきながら本格的なアワード・ハントの世界に入った。

アワード取得の為に1枚でも多くの QSL カードを必要とし、アワードの中には SSB を条件とするものも増加し、SSB 機器セットを手に入れ本格的に SSB 運用を始めた。条件の揃ったアワードは手当たり次第にハント。現在、国内外で1,000枚以上取得。

開局以来、DX を追いかける時が多かったのだが、1977年頃よりローカルで読売新聞社制定の「全日本一万局よみうりアワード」を狙う局が急に増え始め、クラブミーティングでもいつもこの話題でモチキリ。このアワードは制定されてまもなく最低クラスの C 賞は取得していたので、こころで一区切り付けようと、まもなく開局20周年になることもあり、しばらくは DX を止めて国内のみに集中し、念願の本賞を1979年3月岡山市のホテルで、家内やローカル局・関係者多数出席、盛大に授賞式の栄誉を得ることが出来、この日がアマチュア無線歴20年間での最高の喜びだった。1983年には「全世界一万局よみうりアワード」も受賞。両賞受賞は全国で5人目だった

1981年7月からは、CQ 誌「世界のアワード」を執筆することになり、以来15年間連載しアワード・ハンターより大好評を得た。1984年4月には CQ 出版社より単行本「外国アワード」を出版。外国アワードのバイブルとして大変重宝がられた。出版記念と結婚20周年記念パーティーをローカル各局も招いて開催した思いでも。

日本のアワードハンターズグループ「JAG」を1977年8月に設立。副会長・事務局を香川で5年間担当。1994年1月からは6年間会長として日本のアワード界の活性化に励んだ。お陰で当時はアワードハンターで大変な賑わいを見せていた。

「 四国地方本部 」

1988年5月第30回通常総会を香川県香川町で、香川県支部、香川クラブの皆さん方による実行委員会の手によって盛大に開催。過去の全総会記録や連盟の資料などを纏めた「特別記念誌」を発行し大変な好評を得た。1999年5月には第41回通常総会を松山市で開催。2008年5月第50回目の節目となる第50回通常総会を高知市で開催。

1994年10月四国では最初の全日本 ARDF 競技大会を愛媛県で、全国より多数の選手を迎えて開催。思い出に残る大会となった。そして今年(2010)の10月末、香川県さぬき市で四国では17年ぶりとなる同全日本大会が開催されることになっております。

四国内の事業では、1983年10月四国地方本部30周年記念式典を松山市において、原会長などをお迎えして盛大に開催。特別記念誌「四国地方30年のあゆみ」を発行。

「おわりに」

家内と娘3人ともアマチュア無線局を開局、8人の孫に囲まれた内で1人目も開局し、なごやかな稲毛家のハム家族が誕生。その中でアマチュア無線を楽しむこと60余年。無線クラブや各団体、JARLの役員等のボランティア活動に明け暮れた半世紀でした。これも家族の理解と協力、そして関係者やローカル各局の絶大なるご支持・ご支援があったお陰と心より感謝しております。そして、何よりも皆が健康であるということが最良の喜びです。これからもどうぞよろしく願いいたします。

クラブ報の原稿案内及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。

原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送付先 : E-mail :

Fax :

JARL香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。

また、平成23年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

JARL香川クラブ報

発行責任者	JH5LYW	三好	伸幸
編集者	JA5TFJ	横田	寿夫
	JH5WMN	山口	博司
	JI5XTP	坂内	信洋